

阿久比スポーツ村 再整備計画

令和6年3月

目 次

第1章 計画の概要

1.背景と目的	1
2.計画の位置づけ	1

第2章 現状と課題

1.阿久比町の概況	4
(1)人口動向	4
(2)財政状況	5
2.阿久比スポーツ村を取り巻く現状	6
(1)施設の概要	6
(2)各施設の利用状況	9
(3)阿久比スポーツ村の主な年間イベント	11
(4)各施設の使用料	12
(5)歳入・歳出の推移	13
(6)施設の劣化状況	14
(7)アクセスおよび構内道路	17
(8)施設機能	17
(9)阿久比スポーツ村交流センター利活用検討委員会	18
3.阿久比スポーツ村の抱える課題	21
(1)阿久比スポーツ村の課題	21
(2)阿久比スポーツ村の各施設が抱える課題	22

第3章 再整備方針

1.基本方針の検討	24
2.再整備方針の検討	25

第4章 再整備計画

1.再整備内容の検討	26
(1)各施設の整備内容	26
(2)運営方針	33
2.事業計画	34
(1)概算事業費	34
(2)事業スケジュールの検討	35
(3)事業手法の検討	35
(4)事業評価指標の検討	36

第5章 計画の推進に向けて

1.計画の進捗管理・見直し	40
2.推進体制	40

第1章 計画の概要

1. 背景と目的

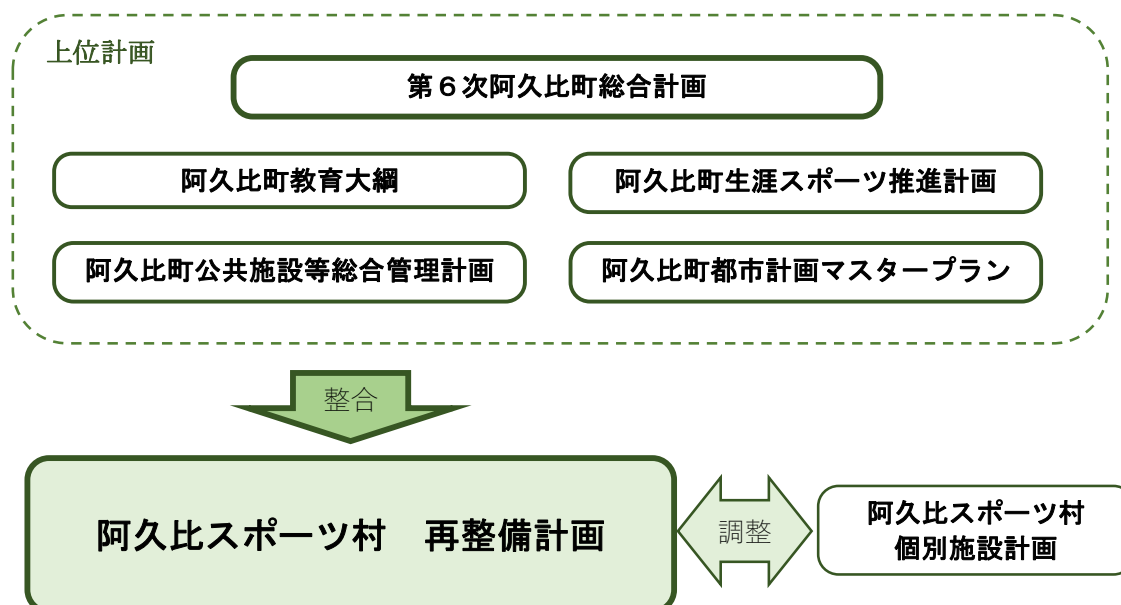
阿久比町立阿久比スポーツ村（以下、「阿久比スポーツ村」という。）内の施設である「野球場」、「室内練習場」、「陸上競技場」及び「クラブハウス」は、平成14年に名古屋鉄道株式会社から、また「交流センター」（多目的体育室、屋内プール、会議室等）を令和3年に旧スポーツ医・科学研究所から取得し、広く市民にスポーツやレクリエーションを楽しんでいただける場として運営管理を行っています。

しかし、各建物は建築後30年が経過し、改修工事は逐次実施しているものの、今後大規模改修も必要となっています。野球場はかつて地元プロ野球球団2軍の準フランチャイズ球場として使用されるなど機能性に優れたグラウンドでもあり、また陸上競技場フィールド内の天然芝においては国際サッカー競技場規格を満たした県内でも数少ない貴重なグラウンドでもあります。また、交流センターの屋内プールも温水プールとして再構築すれば年間を通しての利用が可能となります。

本計画は、これらの現状を踏まえつつ、令和5年3月に策定した「阿久比町スポーツ村個別施設計画」を基に、阿久比スポーツ村一帯の新たな利活用方策及び既存施設の再整備事業を検討することで、利用者数・交流人口増加につなげるとともに地域経済の振興等、地域創生の具現化を目的として策定するものです。

2. 計画の位置づけ

本計画は、町の最上位計画である第6次阿久比町総合計画、並びに阿久比町教育大綱、阿久比町生涯スポーツ推進計画、阿久比町公共施設等総合管理計画、阿久比町都市計画マスタープランを上位計画として整合を図るほか、阿久比スポーツ村個別施設計画と相互に調整します。



阿久比スポーツ村の上位計画での位置づけ

1) 第6次阿久比町総合計画（令和3年3月）

基本構想 〈基本目標4-⑤スポーツ〉

- ・住民が年齢や体力に応じた主体的なスポーツ活動を行うことは、健康なからだと豊かな心を育みます。誰もが気軽に、安全・安心にスポーツに親しめる環境づくりや施設の充実に努めていきます。

基本計画 〈基本目標4-第5節：スポーツ〉

■目指す将来像

- ・住民が健康で心豊かに、生きがいをもって生活を送れるよう、それぞれのライフスタイルに応じたスポーツ活動が推進され、スポーツを通じたつながりが人や地域の活力を生み出しているまちとします。

■基本方針（※上記基本構想と同じ）

- ・住民が年齢や体力に応じた主体的なスポーツ活動を行うことは、健康なからだと豊かな心を育みます。誰もが気軽に、安全・安心にスポーツに親しめる環境づくりや施設の充実に努めていきます。

■主要事業（阿久比スポーツ村関連）

主要事業	実施団体等	事業概要
スポーツ村の活用と周辺整備	町	●ウォーキングコースの整備 ●スポーツ医・科学研究所の再利用
体育館・プールの建設	町	●体育館・プールの建設

2) 阿久比町教育大綱（令和3年7月）

■スポーツ

- ・住民が健康で心豊かに、生きがいをもって生活を送れるよう、それぞれのライフスタイル、年齢や体力に応じたスポーツ活動が推進され、健康なからだと豊かな心を育み、スポーツを通じたつながりが人や地域の活力を生み出しているまちとします。また、誰もが気軽に、安全・安心にスポーツに親しめる環境づくりや施設の充実に努めていきます。

3) 阿久比町生涯スポーツ推進計画（令和5年3月）

■基本目標Ⅰ するスポーツの推進

・スポーツ施設の整備

本町では、阿久比スポーツ村に野球場、陸上競技場、室内練習場、交流センターを設置し、グラウンドでは、板山グラウンド、草木グラウンド、白沢グラウンド、屋内施設ではふれあいの森体育室、丸山公園武道場、白沢区民館体育室をスポーツ活動の場として提供してきました。施設によっては老朽化が進んでいるところもありますが、修繕や整備を進め、町民の方にとって安全で快適な施設管理を目指します。

・阿久比スポーツ村交流センターの活用

令和4年4月にオープンした阿久比スポーツ村交流センターは、多目的体育室や屋内プールを併せ持つ施設です。多目的体育室はスポーツにおける利用はもちろんのこと、他施策との連携を図ることで、施設全体の効果的な活用をします。特に、屋内プールについては、令和4年度にプレオープンとして夏季の一般開放を実施しましたが、温水化により通年利用を可能にすることで、より多くの町民に利用され

る施設とします。

■基本目標Ⅱ 観るスポーツの推進

・阿久比スポーツ村

阿久比スポーツ村の中にある野球場は、ブルペンやスコアボードなどの施設が整った本格的な野球場です。高校野球の大会をはじめ様々な大会や、社会人野球チームのトレーニングとしても利用されています。陸上競技場は、全天候型トラックと天然芝グラウンドを併せ持ち、主に愛知県サッカー協会主催の大会や、知多地方中学校体育大会（サッカー競技）の会場として利用されています。毎月、広報あぐいでスポーツ村イベントガイドを掲載し、観るスポーツとしてもスポーツ村を活用してもらえるように情報を提供していきます。

■基本目標Ⅲ 支えるスポーツの推進

・スポーツ指導者の育成と活用

■実施計画（阿久比スポーツ村関連）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
阿久比スポーツ村交流センターの活用	効果的な活用の検討と老朽化への対応（再整備計画策定）	トレーニング室の交流センター移転と屋内プールの温水化	老朽化に対する対応（防水工事）	効果的な活用の検討と老朽化への対応	効果的な活用の検討と老朽化への対応
スポーツ村イベントガイド	広報・ホームページを通じたスポーツイベントの紹介	広報・ホームページを通じたスポーツイベントの紹介	広報・ホームページを通じたスポーツイベントの紹介	広報・ホームページを通じたスポーツイベントの紹介	広報・ホームページを通じたスポーツイベントの紹介

4）阿久比町公共施設等総合管理計画（令和5年9月一部改訂）

■基本方針

- ・公共施設等の長寿命化と適切な維持管理によるコストの縮減
- ・公共施設等の適正配置・最適化
- ・維持管理や運営手法の見直し

指定管理者制度やPPP／PFI^{（※）}などの民間活力を検討します。

■スポーツ・レクリエーション系施設の今後の方針

- ・スポーツ村は、住民ニーズ等を踏まえ、機能の充実を図っていきます。

5）阿久比町都市計画マスタープラン（令和3年3月）

■公園・緑地の整備方針

- ・阿久比スポーツ村は、周辺の緑などを活かしながら、休養、スポーツ、自然とのふれあいなど、様々な余暇活動を楽しめる運動公園としての機能向上を図ります。

→ スポーツ村の活用と周辺整備

※PPP：Public Private Partnership の略。公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念で、民間資本や民間のノウハウを利用し、効率化や公共サービスの向上を目指すもの。

PFI：Public Finance Initiative の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等に民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することで、効率化やサービス向上を図る公共事業の手法をいう。

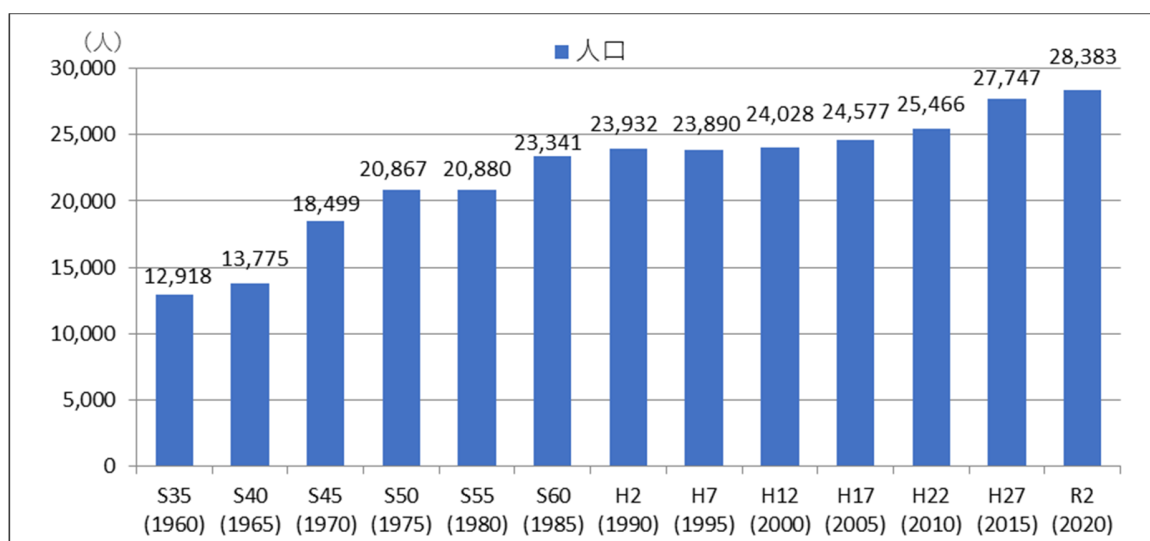
第2章 現状と課題

1. 阿久比町の概況

(1) 人口動向

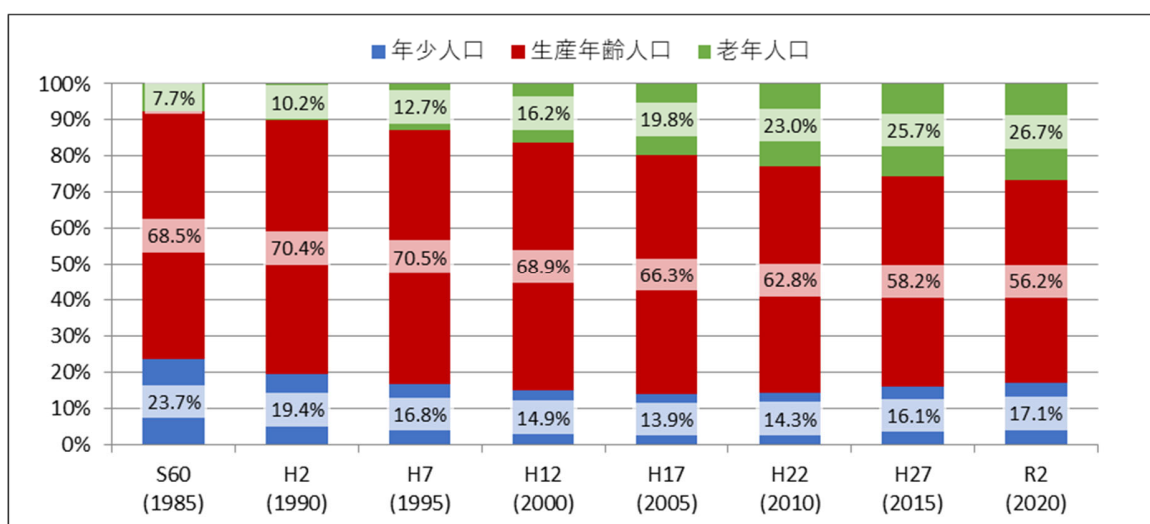
本町の人口は、令和2年現在 28,383 人（国勢調査）となっており、昭和35年から増加傾向にあります。

年齢3区分別人口割合の推移をみると、老年人口割合（高齢化率）は一貫して増加傾向にあり、令和2年では 26.7%となっています。一方、生産年齢人口割合は減少傾向にあります。



出典：国勢調査

図 人口の推移



出典：国勢調査

図 年齢3区分別人口割合の推移

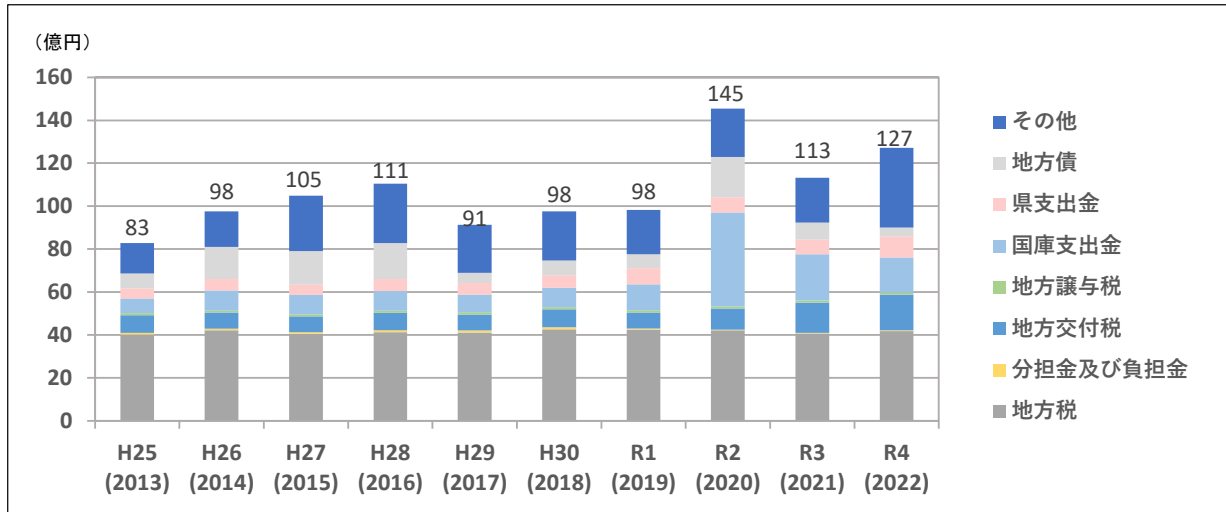
※年少人口：14歳以下、生産年齢人口：15歳～64歳、老年人口：65歳以上

(2) 財政状況

1) 歳入

本町の歳入は過去 10 年間では、コロナ禍で国庫支出金が多くなっている令和 2 年度を除き、83 億円から 127 億円の間で推移しています。

歳入の内訳をみると自主財源である町税（地方税）は約 42 億円前後で安定的に推移しています。



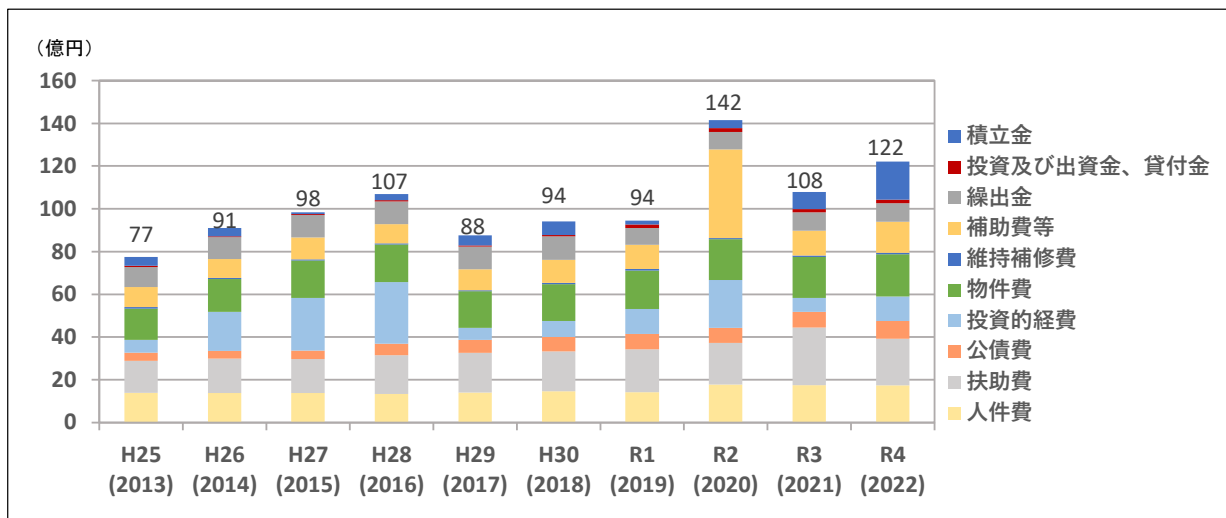
出典：市町村決算カード

図 歳入の推移

2) 歳出

本町の歳出は過去 10 年間では、コロナ禍で補助費等が多くなっている令和 2 年度を除き、77 億円から 122 億円の間で推移しています。

歳出の内訳をみると投資的経費において各年変動がみられます。



出典：市町村決算カード

図 歳出の推移

2. 阿久比スポーツ村を取り巻く現状

(1) 施設の概要

1) 阿久比スポーツ村の概要

阿久比スポーツ村は、阿久比町中央の丘陵部に広がる総面積約 96,000 m²のスポーツ施設です。

表 阿久比スポーツ村の所在地等

所在地	愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字浅間裏 3 番地 2
都市計画	市街化調整区域

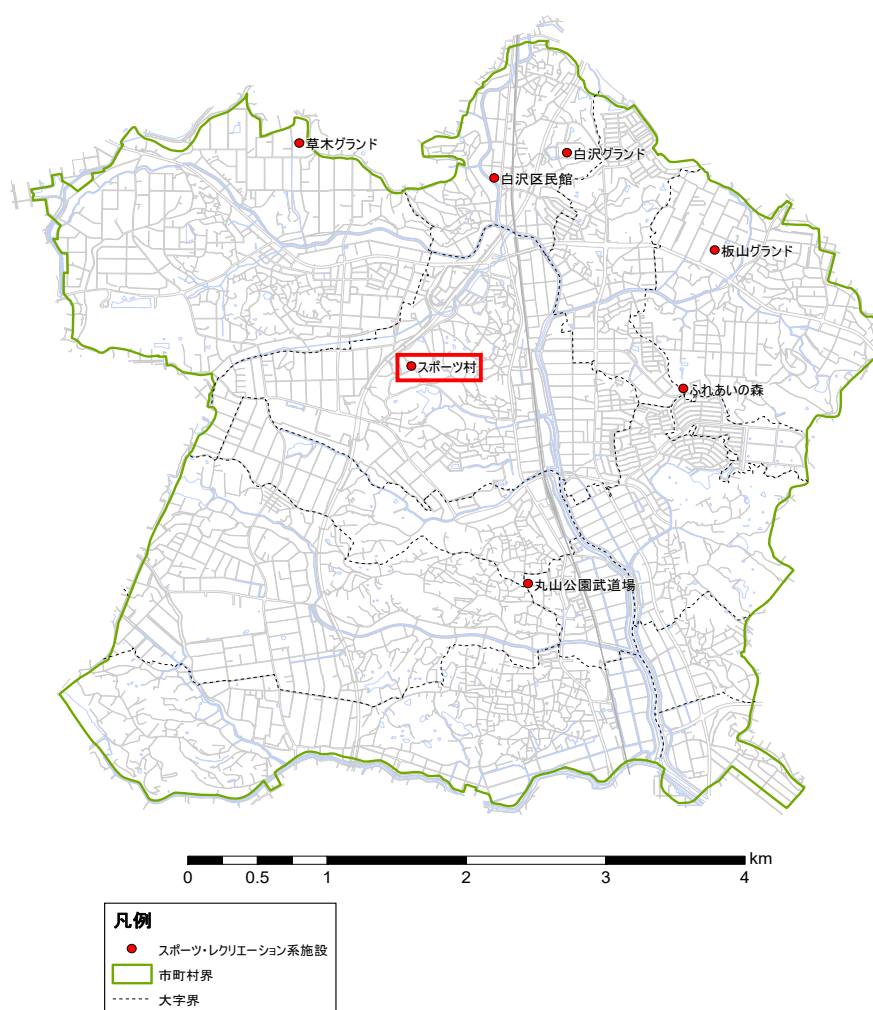


図 阿久比スポーツ村の位置図

2) アクセス

阿久比スポーツ村は、知多半島道路の阿久比 IC から自動車です約 5 分に位置しています。公共交通機関は、阿久比町循環バス「アグピー号」が 1 日 5 便運行されています。

3) 各施設の概要

阿久比スポーツ村に設置されている主な施設は、「交流センター」、「野球場」、「陸上競技場」、「室内練習場」及び「クラブハウス」で、各施設の概要は次表のとおりです。

交流センターは令和 5 年 9 月から、「アグスポ (AGUSPO)」の愛称が付与されて運用していますが、本計画では「交流センター」として表記します。

表 各施設の概要

施設名称	施設内容
交流センター (アグスポ (AGUSPO))	・多目的体育室 (バスケット 1 面またはバレーボール 1 面またはバドミントン 3 面) ・研修室 A・B (定員各 50 人) ・会議室 (定員 16 人) ・応接室 (定員 12 人) ・相談室 (定員 12 人) ・屋内プール (夏期のみ) ・更衣室
野球場	・両翼 98m、中堅 122m ・スタンド 6,000 人収容 (内野 2,000 人、外野 4,000 人) ・ダッグアウト ・ブルペン ・ロッカールーム ・放送室 ・スコアボード ・バッティングゲージ 2 台 ・各種防球ネット
陸上競技場	・全天候型 400m トラック (6 コース) ・グリーンサンド走路 (2 コース) ・フィールド内総芝張り 105m×68m (国際サッカー競技場規格) ・陸上、サッカー競技施設・器具
室内練習場	・ピッチング、守備等練習場
クラブハウス	・トレーニング室 (※) ・更衣室 ・シャワー ・屋外トイレ ・子育て支援センター「あぐぴっぴ」 ・教育相談センター ・教育支援センター「こすもす」
駐車場	・約 400 台

※トレーニング室の主な機器

・トレッドミル (ランニングマシン) 4 台 ・コードレスバイク 4 台 ・ジョーバ 1 台
 ・パーフェクトボディ (振動型トレーニングマシン) 1 台 ・レッグカールマシン 1 台
 ・バタフライ&ローイングマシン 2 台 ・ダンベルほか

阿久比スポーツ村内にある施設の建物の、「交流センター」、「野球場スタンド」、「野球場スコアボード」、「室内練習場」、「陸上競技場本部席」、「倉庫A」、「倉庫B」、「倉庫C」、「多目的トイレ」、「守衛室」及び「クラブハウス」で、各施設の概要と配置は以下の図表のとおりです。

表 各施設の建築概要

施設名		図中 番号	構造※	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	
						西暦	和暦
交流センター		①	RC 一部 S	2	5,261.45	1988	S63
野球場	スタンド	②	RC	1	848.22	1987	S62
	スコアボード	③	S	2	91.00	1987	S62
室内練習場	室内練習場	④	S	1	1,646.26	1975	S50
陸上競技場	本部席	⑤	S	1	149.00	1988	S63
倉庫	倉庫 A	⑥	S	1	215.94	1988	S63
	倉庫 B	⑦	S	1	31.36	1989	H1
	倉庫 C	⑧	S	1	212.71	1975	S50
多目的トイレ		⑨	RC	1	12.13	2021	R3
守衛室		⑩	S	1	1.00	1989	H1
クラブハウス		⑪	S	2	1,103.00	1988	S63

※RC：鉄筋コンクリート造 S：(軽量)鉄骨造

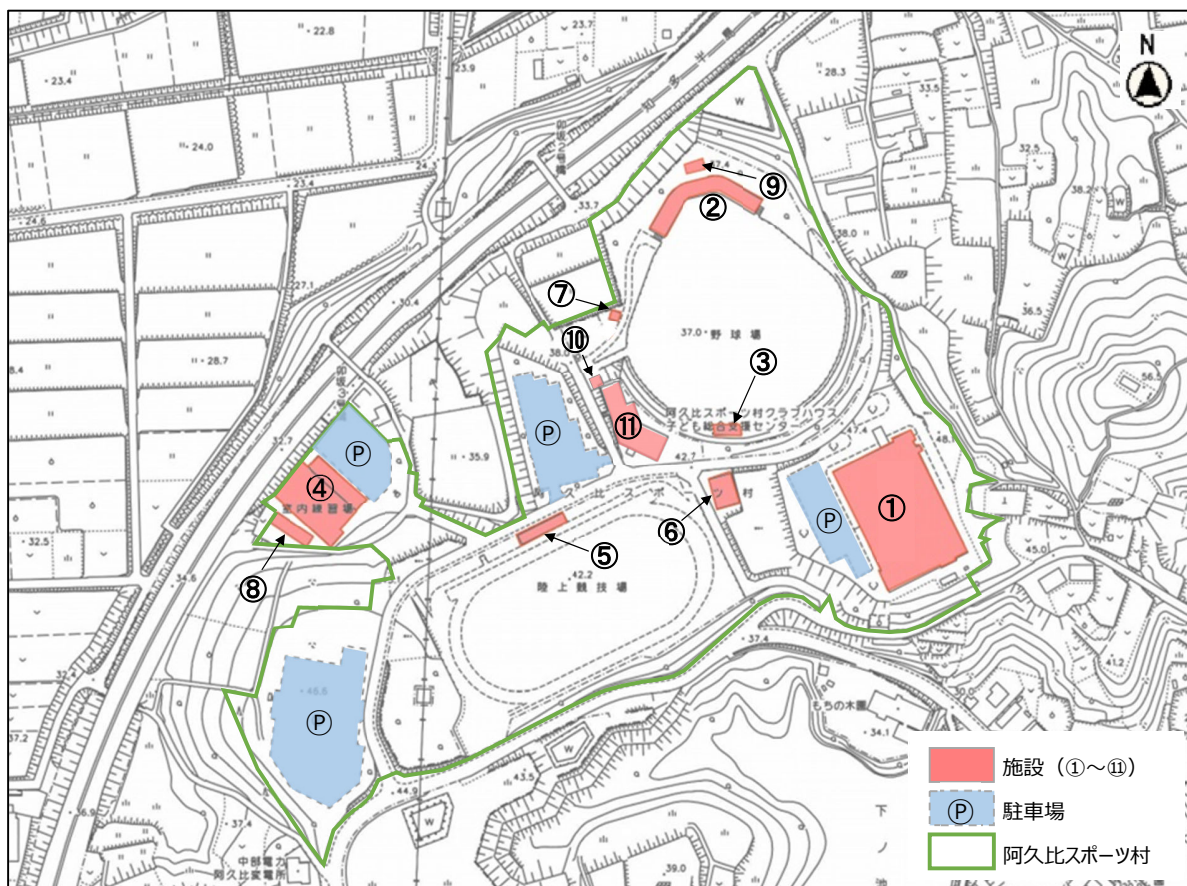


図 各施設の配置図

(2) 各施設の利用状況

◆交流センター

交流センターは、令和 3 年度に旧スポーツ医・科学研究所から譲受し、令和 4 年 4 月 1 日から一部施設の一般開放を行っています。令和 4 年度の交流センターの利用回数は、団体利用が 591 回、個人利用が 547 人となっており、そのほとんどは多目的体育室の利用となっています。

表 交流センター利用回数

年度	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
交流センター団体利用 (回)	—	—	—	—	—	591
交流センター個人利用 (人)	—	—	—	—	—	547

◆野球場

野球場の利用回数は、平成 29 年度 195 回、平成 30 年度 244 回、令和元年度 242 回、令和 2 年度 187 回と推移しており、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和 2 年度は減少していますが、令和 3 年度には 248 回と回復しており、令和 4 年度は 257 回でした。

表 野球場利用回数の推移

年度	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
野球場利用回数 (回)	195	244	242	187	248	257

◆室内練習場

室内練習場の利用回数は、平成 29 年度 172 回、平成 30 年度 190 回、令和元年度 172 回、令和 2 年度 160 回と推移しており、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和 2 年度は減少していますが、令和 3 年度には 176 回と回復しており、令和 4 年度は 238 回でした。

表 室内練習場利用回数の推移

年度	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
室内練習場利用回数 (回)	172	190	172	160	176	238

◆陸上競技場

陸上競技場利用回数は、平成 29 年度 317 回、平成 30 年度 325 回、令和元年度 323 回、令和 2 年度 270 回と推移しており、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和 2 年度は減少していますが、令和 3 年度には 286 回と回復しており、令和 4 年度は 347 回でした。令和 4 年度の個人利用者は 2,067 人でした。

表 陸上競技場利用回数の推移

年度	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
陸上競技場専用使用（回）	317	325	323	270	286	347
陸上競技場個人使用（人）	2,172	2,639	1,627	1,642	2,471	2,067

◆トレーニング室

トレーニング室利用の延べ人数は、平成 29 年度 11,870 人、平成 30 年度 12,157 人、令和元年度 9,510 人、令和 2 年度 1,301 人と推移しており、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和 2 年度は減少していますが、令和 3 年度には 2,555 人と少し回復しており、令和 4 年度は 2,559 人でした。

表 トレーニング室利用人数の推移

年度	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
トレーニング室利用人数（人）	11,870	12,157	9,510	1,301	2,555	2,559

(3) 阿久比スポーツ村の主な年間イベント

阿久比スポーツ村の令和5年度の主なイベントは、次の表のとおりです。

表 阿久比スポーツ村の主な年間イベント（令和5年度実績）

日 程	行事名	実施場所
4月1日(土)・2日(日)	愛知県高等学校優勝野球大会 知多地区予選会	野球場
4月16日(日)・22日(土)・23日(日)・29日(土)	愛知県高等学校優勝野球大会 春季愛知県大会	野球場
5月3日(水・祝)・6日(土)	全尾張高等学校野球選手権 決勝大会	野球場
5月13日(土)・14日(日)	阿久比町生涯学習フェスティバル (体力テスト・大人のためのニュースポーツ体験)	交流センター
5月27日(土)～3月2日(土)	ジュニアスポーツ教室陸上コース	陸上競技場
6月18日(日)・25日(日)	軟式野球交流大会	野球場
6月25日～10月22日(全5回)	ミニテニス教室	交流センター
7月～(毎月第1日曜日)	デトックス体操教室	交流センター
7月1日(土)・2日(日)・8日(土)・9日(日)・ 15日(土)・16日(日)・17日(月・祝)・21日(金)・ 22日(土)・23日(日)	全国高等学校野球選手権大会 愛知大会	野球場
7月23日(日)・24日(月)・25日(火)	知多地方中学校体育大会(サッカー種目)	陸上競技場
7月29日(土)・30日(日)・31日(月)	愛知県中学校総合体育大会(軟式野球)	野球場
8月1日(火)	愛知県中学校総合体育大会(軟式野球)	野球場
8月11日(金・祝)～25日(金)	愛知県高等学校野球選手権大会 知多地区予選会	野球場
8月27日(日)	軟式野球交流大会	野球場
9月3日(日)	軟式野球交流大会	野球場
9月3日(日)	◎デンソー女子アスリートによる陸上教室	陸上競技場
9月9日(土)・10日(日)・16日(土)・17日(日)	愛知県高等学校野球選手権大会 秋季愛知県大会	野球場
9月10日(日)	親子スポーツ体験	交流センター
9月17日(日)・18日(月・祝)・23日(土)・ 24日(日)	全尾張高等学校野球選手権大会 知多地区予選会	野球場
10月4日(水)	阿久比スポーツフェスティバル グラウンドゴルフ大会	野球場
10月14日(土)	第43回 阿久比町障がい者大運動会	陸上競技場
10月15日(日)・22日(日)	軟式野球交流大会	野球場
10月21日(土)・22日(日)・ 28日(土)・29日(日)	2023 A G U I サッカーフェスティバル	陸上競技場
10月28日(土)・29日(日)	全尾張高等学校野球選手権 決勝大会	野球場
11月1日(水)	阿久比町いきいきクラブ連合会 グラウンドゴルフ大会	野球場
11月3日(金・祝)	全尾張高等学校野球選手権 決勝大会	野球場
11月11日(土)・12日(日)	2023 A G U I サッカーフェスティバル	陸上競技場
11月11日(土)・12日(日)	愛知県高等学校野球 1年生大会	野球場
11月19日(日)	軟式野球交流大会	野球場
11月26日(日)	少年野球大会(ロータリー大会)	野球場
12月3日(日)	阿久比町スポーツ少年団交流大会(駅伝大会)	陸上競技場
12月6日(水)	阿久比町いきいきクラブ連合会 グラウンドゴルフ大会	野球場
12月10日(日)	阿久比スポーツフェスティバル 軟式野球大会	野球場
1月21日(日)	◎第46回 阿久比町健康づくりマラソン大会(中止)	陸上競技場
1月27日(土)	◎ジェイプロジェクト硬式野球部による野球教室	野球場
2月12日(月)	◎FC刈谷によるサッカー教室	陸上競技場
3月20日(水・祝)～31日(日)	愛知県高等学校優勝野球大会 知多地区予選会	野球場

◎：阿久比町制70周年記念事業

(4)各施設の使用料

阿久比スポーツ村各施設の使用料は、次の表のとおりです。交流センターのプールはプレオープン期間の無料開放を行っており、温水プールの使用開始に伴い、令和 6 年度中に使用料を設定します。

表 各施設の使用料

区 分					使用料（※）	
陸上競技場	個人使用 1 人 1 回につき		小学生・中学生		100 円	
			一般(学齢前除く)		210 円	
	専用使用	入場料等徴収なし		平日	1,570 円	
				休日	2,100 円	
		入場料等徴収あり	営利目的 以外	平日	3,150 円	
				休日	4,190 円	
			営利目的	平日	15,720 円	
				休日	20,950 円	
野球場	入場料等徴収なし		平日	1,570 円		
			休日	2,100 円		
	入場料等徴収あり	営利目的 以外	平日	3,150 円		
			休日	4,190 円		
		営利目的	平日	15,720 円		
			休日	20,950 円		
室内練習場					1,050 円	
トレーニング室	1 人 1 回につき		中学生以上		200 円	
	回数券 (上記使用料 2,200 円分)				2,000 円	
交流センター	多目的 体育室	個人使用 1 人 1 回につき		小学生・中学生	100 円	
				一般(学齢前除く)	210 円	
		専用使用	入場料等徴収なし		1,100 円	
			入場料等 徴収あり	営利目的以外		2,200 円
				営利目的		11,000 円
	相談室				200 円	
	応接室				200 円	
	会議室				400 円	
	研修室 A				400 円	
	研修室 B				400 円	

※別に定めのあるものを除き、1 時間につき

【備考】

- 1 暖房設備又は冷房設備を使用する場合の使用料の額は、この表の使用料に 20 パーセントを増した額とする。ただし、その金額に 10 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。(陸上競技場、野球場、室内練習場、トレーニング室及び交流センター多目的体育室を除く。)
- 2 陸上競技場及び交流センター多目的体育室の個人使用は、専用使用が行われていない場合のみ使用可能とする。
- 3 休日とは、土曜日、日曜日又は祝日をいう。

出典：阿久比町使用料条例

(5) 歳入・歳出の推移

1) 歳入

過去5年間の阿久比スポーツ村の歳入は、平均で約771万円/年となっています。

表 阿久比スポーツ村施設の関連経費の推移（歳入）

(千円)

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	H30～R4 5年平均
使用料	6,901	6,031	4,400	4,815	6,988	5,827
補助金・負担金	0	0	9,437	0	0	1,887
その他	0	0	0	0	0	0
合計	6,901	6,031	13,837	4,815	6,988	7,714

※各項目の金額は千円未満切捨て、5年平均は千円未満四捨五入による

2) 歳出

過去5年間の阿久比スポーツ村の施設関連経費は平均で約4,643万円/年となっています。また、施設関連経費計から施設整備費（令和2年度：多目的トイレ新設費用）を除いた維持管理費は5年間平均で約4,366万円/年となっています。

なお、委託費等について、令和4年度はプールの運営を外部委託したことから、前年度以前より大幅な増額となっています。

表 阿久比スポーツ村施設の関連経費の推移（歳出）

(千円)

年度	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	H30～R4 5年平均
施設整備費	0	0	13,849	0	0	2,770
その他施設整備費	9,072	2,286	1,298	6,851	30,700	10,041
維持修繕費	3,807	4,183	3,681	5,744	5,774	4,638
光熱水費	4,311	3,641	3,490	3,906	15,446	6,159
委託費等	10,721	10,871	10,381	12,450	31,170	15,119
使用料（土地・建物の使用料）	217	218	229	239	586	298
その他	3,051	2,106	5,106	8,352	18,384	7,400
合計	31,179	23,305	38,034	37,542	102,060	46,425
維持管理費（施設整備費除く）	31,179	23,305	24,185	37,542	102,060	43,655

※各項目の金額は千円未満切上げ、5年平均は千円未満四捨五入による

※R4 積立金（1,273百万円）除く

施設整備費：新増築事業、改築事業、耐震化事業、大規模改修等に係る事業費
その他施設整備費：上記に含まれないグラウンド整備、倉庫等の改修や整備に係る事業費
維持修繕費：建物維持に係る消耗品費、部分補修等に係る経費
光熱水費：電気・ガス・燃料・上下水道等
委託費等：消防設備、電気設備、防火設備点検、警備保障、植栽維持管理、清掃等の委託に係る経費

(6) 施設の劣化状況

各施設の劣化状況を「阿久比スポーツ村個別施設計画」（令和 5 年 3 月阿久比町）でみると次のようになっています。

劣化の状況を建物の部位別（「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上」、「電気設備」、「機械設備」）に、概ね良好な状況を「A」、部分的に劣化しているが安全上、機能上問題のない状況を「B」、全体的に劣化しており安全上、機能上不具合発生の兆しのある状況を「C」、及び安全上、機能上問題があり早急に対応する必要がある「D」の 4 段階で評価しています。電気設備、機械設備の劣化状況は目視等による確認が困難であることから、明らかな劣化が現れていないものは経過年数により、20 年未満のものを「A」、20 年から 40 年未満のものを「B」、40 年以上のものを「C」と評価し、著しい劣化現象がある場合は「D」の評価としています。

◆交流センター

- ・ 屋上は、採光窓の防水層の劣化・剥離、汚れ、屋根葺き材のサビ、防水層の浮き、ドレイン部分に落葉が溜まることによる排水不良、および設備機器等のサビなどの劣化が激しい状況にあります。
- ・ 外壁は、塗装の劣化、ひび割れ、およびシーリングの劣化等があり、適切な時期での補修が必要です、現時点では安全上、機能上大きな問題はありません。
- ・ 内装は、建築後 35 年経っていることから劣化が見られます。

<評価> 屋根・屋上：C 外壁：B 内部仕上：B 電気設備：B 機械設備：B

◆野球場 スタンド

- ・ 観客席が屋根の役目を果たしていることから、今後雨漏り防止のための対策（改修）が必要です。
- ・ 外壁は、部分的にコンクリートの劣化、ひび割れ、および塗装の劣化等があり、適切な時期での補修が必要ですが、現時点では安全上、機能上大きな問題はありません。
- ・ ネット用の支柱、巻上げ装置等の鉄部にサビなどの劣化が激しいところがあります。
- ・ 内装は、建築後 36 年経っていることから劣化が見られます。

<評価> 屋根・屋上：B 外壁：B 内部仕上：B 電気設備：B 機械設備：B

◆野球場 スコアボード

- ・ 屋根は、部分的な劣化はあるものの雨漏り等が無いことから大きな問題はありません。
- ・ 外壁は、塗装の劣化、およびへこみはあるものの現時点では安全上、機能上大きな問題はありません。
- ・ 内装は、各所にサビ等はあるものの現時点では安全上、機能上大きな問題はありません。

<評価> 屋根・屋上：B 外壁：B 内部仕上：B 電気設備：B 機械設備：B

◆室内練習場

- ・ 屋根は、建築後 48 年が経っており、屋根材の広範囲な劣化や一部で欠損があることから機能上不具合が発生する兆しがあります。
- ・ 外装は、塗装の劣化やサビが多くの箇所でみられることから機能上不具合が発生する兆しがあります。
- ・ 内装は、屋根材、外壁材が内装材となっていることから屋根、外壁と同様の状況です。

<評価> 屋根・屋上：C 外壁：C 内部仕上：C 電気設備：C 機械設備：C

◆陸上競技場 本部席

- ・ 屋根は、部分的な劣化はあるものの雨漏り等が無いことから大きな問題はありません。
- ・ 外壁等は、柱等にサビはあるものの現時点では安全上、機能上大きな問題はありません。
- ・ 内装は、建築後 35 年経っていることから若干の劣化はあるものの大きな問題はありません。

<評価> 屋根・屋上：B 外壁：B 内部仕上：B 電気設備：B 機械設備：なし

◆倉庫 A

- ・ 屋根は、雨漏り等が無いことから大きな問題はありません。
- ・ 外壁は比較的大きなひび割れがあり、また軒天材が広範囲で欠落していることから安全上、機能上不具合が発生する兆しがあります。
- ・ 内装は、建築後 35 年経っていることから若干の劣化はあるものの大きな問題はありません。

<評価> 屋根・屋上：B 外壁：C 内部仕上：B 電気設備：B 機械設備：B

◆倉庫 B

- ・ 屋根材の断熱材の劣化、外壁のサビ等はあるものの現時点では安全上、機能上大きな問題はありません。
- ・ 内装は、わずかにサビはあるものの問題はありません。

<評価> 屋根・屋上：B 外壁：B 内部仕上：B 電気設備：なし 機械設備：なし

◆倉庫 C

- ・ 屋根は、建築後 48 年が経っていることから、屋根材の広範囲な劣化や欠損があることから機能上不具合が発生する兆しがあります。
- ・ 外装は、塗装の劣化やサビが多くの箇所でみられることから機能上不具合が発生する兆しがあります。
- ・ 内装は、屋根材、外壁材が内装材となっていることから屋根、外壁と同様の状況です。

<評価> 屋根・屋上：C 外壁：C 内部仕上：C 電気設備：C 機械設備：C

◆多目的トイレ

- ・ 建築後 2 年の建物であり、劣化はありません。

＜評価＞ 屋根・屋上：A 外壁：A 内部仕上：A 電気設備：A 機械設備：A

◆守衛室

- ・ 使用されていないことから、全体の広範囲に劣化が進んでいます。
- ・ 簡易な建物であることから、工事としては改修ではなく建て替えが望ましいと考えられます。

＜評価＞ 屋根・屋上：C 外壁：C 内部仕上：C 電気設備：なし 機械設備：なし

表 各施設の劣化の状況

施設名		構造 ※1	建築年度		築年 数 ※2	劣化の状況評価 ※3					耐震 性
			西暦	和暦		屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	
交流センター		RC 一部 S	1988	S63	35	C	B	B	B	B	有
野球場	スタンド	RC	1987	S62	36	B	B	B	B	B	有
	スコアボード	S	1987	S62	36	B	B	B	B	B	有
室内練習場	室内練習場	S	1975	S50	48	C	C	C	C	C	無
陸上競技場	本部席	S	1988	S63	35	B	B	B	B	—	有
倉庫	倉庫 A	S	1988	S63	35	B	C	B	B	B	有
	倉庫 B	S	1989	H1	34	B	B	B	—	—	有
	倉庫 C	S	1975	S50	48	C	C	C	C	C	無
多目的トイレ		RC	2021	R3	2	A	A	A	A	A	有
守衛室		S	1989	H1	34	C	C	C	—	—	有

※1 RC：鉄筋コンクリート造 S：(軽量)鉄骨造

※2 令和 5 年時点

※3 A：概ね良好 B：部分的に劣化 C：広範囲に劣化 D：早急に対応する必要がある

—：対象設備無し

（７）アクセスおよび構内道路

阿久比スポーツ村へのアクセス道路、公共交通機関、構内道路の現状は次のとおりとなっています。

◆アクセス道路

- ・ 知多半島道路阿久比 IC の近傍に位置し、自動車で約 5 分の距離となっており、良い立地条件となっていますが、阿久比 IC の出口配置により、住宅地を迂回するアクセスとなっており、経路が分かりにくくなっています。
- ・ 阿久比市街地からは町道が接続しています。

◆公共交通機関

- ・ 阿久比町循環バス「アグピー号」が阿久比駅との間で運行されていますが、1 日 5 往復（午前 2 便、午後 3 便）に限られています。

◆構内道路

- ・ 町道が阿久比スポーツ村を横断するかたちで貫いており、構内道路の役目も担っています。
- ・ 駐車場へは、この町道から出入りする配置になっています。
- ・ 構内道路となっている町道は、駐車場への出入、阿久比スポーツ村への入退のため通行量が多い時間帯もあります。
- ・ 阿久比スポーツ村内の町道には歩道が設置されておらず、歩車分離になっていません。

（８）施設機能

各施設の機能面での現状は次のとおりとなっています。

◆交流センター

- ・ 一般開放の諸室は一部（多目的体育室、研修室、会議室、応接室、相談室）であり、スポーツ医学実験室の多目的室への機能変更工事を先行して実施します。
- ・ プールは夏期のための開放に限られていますが、温水化工事が令和 6 年度に完成し、令和 6 年 12 月から運用が開始される予定です。
- ・ 将来的には町内の学校プール授業を交流センター内のプールで実施することが検討されています。
- ・ 現在クラブハウスに設置しているトレーニング室を交流センター内に移設するための改修を進めています。
- ・ 現在開放されている諸室、プール、トレーニング室、及び一般開放の管理に必要な諸室以外については、庁内の利活用検討組織、外部関係者で組織される「阿久比スポーツ村交流センター利活用検討委員会」において今後の利活用方法が検討されています。
- ・ 交流センターの運営は町直営で行われており、プール開放時の監視業務、トレーニング室の初回利用講習のみ外部委託されています。
- ・ 現在クラブハウスに設置している阿久比スポーツ村の事務所機能を令和 6 年度から交流センターに移設し、各施設の使用受付、料金収受などの事務を交流センターで一本化します。

- ・ 陸上競技場がアジア競技大会（以下「アジア大会」という。）のサッカー練習場として採択された場合には、選手、関係者の受入施設としての利用が検討されています。
- ・ 交流センターへのトレーニング室、事務所機能の移設により、クラブハウスは子育て・福祉の専用施設として機能強化を図る計画となっています。

◆野球場

- ・ 知多地域で硬式野球の大会ができる数少ない施設の一つですが、設備の面で関係者の評価は決して高くなく、特に、外野芝の改修やメンテナンス改善、スコアボードの改修（選手名表示を書込み式から電光掲示化等）の要望があります。
- ・ 大会開催が土休日に集中するため、一般利用者予約が取りにくい状況があります。
- ・ 地元プロ野球球団から秋季キャンプの使用球場としての打診があります。

◆室内練習場

- ・ 周辺に同種の施設がないため、町外からの利用者も多くなっています。
- ・ 旧牛舎を改修して設置されたものであり、一部側壁がなく雨天時には雨が吹き込むことがあります。
- ・ インフラが未改修であり、トイレの改修要望があります。

◆陸上競技場

- ・ 町内では唯一の陸上競技施設となっていますが、公認取得は行っておらず、記録の承認が必要な大会等の開催には使用できず、練習用途での使用となっています。
- ・ 愛知駅伝で上位入賞を続ける、阿久比町チームの練習場として利用されています。
- ・ トラック外周の斜路の利用が多く、増設要望があります。
- ・ フィールドは天然芝となっており、アジア大会のサッカー練習場候補地として選定されています。
- ・ 社会人サッカーチームからの利用打診があります。

◆駐車場

- ・ 駐車場は常設として約 400 台分が 4 箇所に分かれて確保されています。

（９）阿久比スポーツ村交流センター利活用検討委員会

町では令和５年度から町のスポーツ振興に関連する団体や阿久比スポーツ村の諸施設を利用している団体等の代表を委員として構成する「阿久比スポーツ村交流センター利活用検討委員会」（以下、「利活用検討委員会」という。）を設置し、交流センターの利活用方策を中心に意見聴取や討議を行っています。

これまで利活用検討委員会は３回開催され、その開催概要は次表のとおりです。

表 利活用検討委員会の開催概要

開催回	開催日	議 題
第 1 回	令和 5 年 7 月 3 1 日	(1) 交流センターの愛称について (2) 交流センターの利活用について
第 2 回	令和 5 年 8 月 2 8 日	(1) 交流センターの利活用について
第 3 回	令和 6 年 3 月 2 6 日	(1) スポーツ村・交流センターの利活用等について (2) 交流センターの利活用について

利活用検討委員会では、町から交流センターの現状、町での利用諸室の考え、阿久比スポーツ村の町の展望等が示されたうえで、委員からの意見聴取や討議を行っており、これらを踏まえて委員から挙げられた主な意見は次表のとおりです。

表 利活用検討委員会での意見（概要）

【阿久比スポーツ村全般】 ・事務局運営の充実、器具管理の集約、運用上の支援、施設使用料の検討が必要である。 ・阿久比スポーツ村内を自由に散策できるコースを作る。 ・アジア大会の練習場、プロ野球球団のキャンプ地候補であることを積極的にアピールする。 【阿久比スポーツ村へのアクセス】 ・アクセスが悪い。公共交通は循環バスしかないが、立ち寄り頻度が少なく、1 日 4 回程度の立ち寄りが必要である。 【交流センターのあり方】 ・防災拠点として、施設利用の明確化を図る。 ・交流センターを知っている人が少なく認知されていない。イベント等の頻度を増やし、認知度を高めたり、交流センターに来るという経験をさせ、口コミで認知を高める工夫が必要。 ・病院の名残の暗いイメージを変えるための工夫を行う。例えば、エントランス部分が殺風景であるため、モニターを設置して映像を流す、町の特産物などをケースで展示する、イベントの写真やアートの設置、廊下の壁の塗り替え等が考えられる。 ・通路にある案内は変更、撤去し、椅子などの休憩できる場所を作る。 ・ボランティアの活動場所、子供食堂の定期開催場所として、断続的に人が集まる場所とする。 【運営】 ・経費は利用者負担の考え方での運営が必要であるが、公共施設のため使用料をとったとしても維持管理費を賄うことは難しいと考えられ、いかに利用率を高めるかが重要となる。

【交流センターの利活用促進】

- ・スポーツに限らず文化系等、様々な活動で利用できる様にする。
- ・関係機関との連携や学校、会社などへ PR を行い、体育室以外の利用促進や小中学校の地域部活動に利用してもらう。
- ・体育室、卓球室に用途が違ふ機能を入れる（シミュレーションゴルフ、ビリヤード、ダーツ等）
- ・若い人が集まれば、高齢者も集まり、子供を集めることで親も集まるため、工作教室など多世代や親子で触れ合える行事を定期的に開催する。
- ・道具の貸出による利用者増を図る。

【交流センターの再整備】

- ・既存の状態では利用できない。5 年くらいかけて色々な教室ができる広い部屋を整備する。
- ・利用団体からの意見や利用者からのアンケートを実施して、改修、改善に繋げる。
- ・スポーツ系の研修で利用したが、宿泊は別の場所となり、移動が必要であった。宿泊室を再利用して、合宿のできる運動施設を売りにする。食事、夜間管理は検討する必要があるが、シャワー、風呂が必要なら、別棟で建設すると安くなるのではないか。
- ・使用する部屋の順序を決めて、整備費用の掛からない部分から順次実施した方が良い。
- ・体育館は阿久比の唯一の施設で狭いが、今ある施設を上手に利用していくかを考える。
- ・この施設が先々どのように進んでいきたいのかが解らない。全体の計画のなかで進捗や現状を示すことが必要である。
- ・防災なのか学校のプールなのか、町が最も行いたい部分かが解らない。計画を第 1 期、第 2 期などの期間で分け、その期間内で優先順位をつけて実施することが必要である。
- ・太陽光発電や蓄熱など環境に配慮した設備を設置する。

【その他】

- ・喫茶、レストランを再オープンする。
- ・使用できない残置物（布団など）は早急に撤去する。

3. 阿久比スポーツ村の抱える課題

(1) 阿久比スポーツ村の課題

阿久比スポーツ村を取り巻く現状の整理結果から、阿久比スポーツ村全体が抱える課題を次のとおり整理します。

◆収支バランスを考慮した持続可能な施設づくり

野球場や室内練習場は周辺に同等の施設がないことから、町内のみならず遠方からも多くの利用があります。一方で、阿久比スポーツ村全体として、毎年 4 千万円近く支出が収入を上回っています。こうしたことから、現在一部のみしか使用していない交流センターの利活用のみならず、阿久比スポーツ村全体にわたる施設の魅力向上や各種イベントの実施などを通じて、より広域的な利用を促進し収入機会を増やすことが重要です。

◆安全・安心に利用できる施設への対応

各施設の築年数は約 30 年から 50 年近くが経過し、建物自体が老朽化しています。今後は損傷等が発生した後に修繕を行う「事後保全型管理」から、損傷や劣化が進行する前に適切な対応を行う「予防保全型管理」へと転換し、計画的な施設保全と長寿命化を図ることが必要です。あわせて町の財政状況に配慮した維持管理費の適正化及び平準化を図っていくことが必要です。

その際、避難所・避難場所としての安全性の確保や機能の充実に加え、脱炭素社会の現実に向けて、照明具や冷暖房等設備機器の効率化、太陽光等の再生可能エネルギーの導入、断熱化等の建物機能の向上を図るなど、環境負荷の低減や自然との共生等を考慮した施設整備の推進が必要です。

一方、再整備にあたっては、施設の魅力向上の視点等から既存施設の長寿命化にこだわらず、既存施設の建替えや新たな施設の設置を含め長期的視点にたった検討が必要です。

◆施設のバリアフリー化への対応

老朽化対策とあわせて、建設時には導入されていない、各施設のバリアフリー化対策を順次進め、だれもが利用できる施設とすることが必要です。

◆利用者動線の安全確保

交流センターの機能増強、事務所機能の集約などにより、交流センターへの往来や町道を横断する利用者も多くなることが想定されるため、阿久比スポーツ村内の歩車分離を徹底し、利用者動線の安全を確保することが必要となります。

また、阿久比スポーツ村内を横断する道路が町道となっており、完全に歩車分離するには町道の付け替えが考えられますが、そのための用地買収や道路事業立案に長期的な時間と費用が必要となるため、短期的な対策として歩道や横断歩道、危険標識の設置などの安全対策を徹底して実施することが必要です。

◆阿久比スポーツ村の位置付けの明確化

現在、阿久比スポーツ村の中心位置に子育て支援センターがあり、また、交流センターの一部に行政機能等の移転や防災機能を向上させる取組みを進めています。今後は、阿久比スポーツ村全体の機能配置を検討する中で、子育て支援や防災との機能連携、関係部署間との運営連携等を含めて、施設の位置付けやそれに適合した利用目的を明確にする必要があります。

◆施設の再整備、管理運営への民間活力の導入

町内外にわたる多くの利用者に魅力を感じられる施設づくりに向けては、民間事業者等のノウハウを活用することが不可欠です。このため、施設の再整備から管理運営の各段階において民間活力の導入を検討する必要があります。

◆立地条件を活かしたアクセス性の向上

阿久比スポーツ村は、知多半島道路阿久比インターチェンジに近接しており、そうした立地条件を活かし、大型車両などでもアクセスしやすいよう、アプローチ道路の整備についても検討が必要です。

◆再整備に向けた財源確保

阿久比スポーツ村の再整備にあたり、町の財政運営に影響を及ぼさない再整備、運営方法を検討する必要があり、活用可能な補助金、交付金の調査や他自治体の整備運営手法の調査等により、利用者の増加、サービスの向上等を図る効果的な投資となることが必要です。

(2) 阿久比スポーツ村の各施設が抱える課題

阿久比スポーツ村の各施設が抱える課題を施設ごとに次のとおり整理します。

◆交流センター

施設機能では、プール、多目的体育室、トレーニング室の運用が主体となりますが、その他の屋内スポーツが実施できる多目的室等が不足すると考えられます。

一般開放は行っているものの、独立した閉鎖的なイメージであるため、他の施設利用者の休憩室等の利用や浴室がプール利用者に限定される位置にあるなどの改善策の検討が必要です。

また、現在検討されている、防災施設機能や公用利用部分を交流センターに配置する場合、実質的に利活用できる諸室に制限がでています。

今後、交流センターを“するスポーツの推進拠点”として、指定管理者制度による運営・管理に移行する場合、定常的な利用者の増加を図るための多様な自主事業が実施できる諸室の確保が必要と考えられます。

アジア大会の練習場として陸上競技場が使用される場合には、選手、関係者の受入施設（休憩、更衣、トレーニング、シャワー、事務機関等）として交流センターを活用するため、シャワー設備等の一部

施設の改修が必要です。

旧スポーツ医・科学研究所の施設機能により、病室、宿泊室の小規模諸室が多数現存し、その利活用策として合宿機能としての利活用も候補となっていますが、施設内での宿泊を想定する場合は、浴室の利用確保、飲食供給方法、合宿期間外の利用方法について検討が必要です。

◆野球場

現有機能で大会等の開催は可能ではあるものの、県内の他施設と比較すると、設備の旧態化や外野芝のメンテナンス状態に対する改善要望等があり、施設としての評価は高くはなく、施設の大規模改修にあわせて、設備更新や維持管理の方策を検討する時期となっています。

地元プロ野球球団が使用する場合には、知名度向上による利用者増加やリピーター確保が期待される一方、プロ球団が使用できる仕様への改修が必要となるほか、一般利用に制限が掛かることが考えられます。現状では、同球団からの利用打診に留まっており、改修仕様の要望はないことから、施設改修の内容や時期については同球団の施設利用の確実性を勘案して方策を考える必要があります。

◆室内練習場

建屋側壁が一部しか無いことによる雨天時の雨の吹き込み、トイレの水洗化、設備機器の更新等、利用者サービス向上のための改修が必要であることが考えられますが、建屋の設備を含めた大規模な改修が必要になると考えられ、建替との費用対効果を利用者サービス向上、建屋の耐用年数等を勘案して、どちらが有効かを判断することが必要です。

なお、地元プロ野球球団が野球場を使用する場合、室内練習場についても、プロ球団が使用する機能確保のための大規模な改修あるいは建替が必要となることが考えられます。

◆陸上競技場

今後も練習用施設としての運用を継続する場合では、現有機能の維持と要望の高い機能増強に留めることができますが、フィールドはサッカー以外の球技での利用の検討が必要です。

アジア大会の練習場利用に際しては、実施時期までの芝の改修・養生、管理や交流センターを選手、関係者の受入施設として利用するための一部設備を先行して改修する必要があるほか、一時的な一般利用の制限が必要となることも考えられます。

社会人サッカーチームが使用する場合には、知名度向上による利用者増加やリピーター確保に寄与すると考えられますが、クラブが使用できる仕様への改修が必要となるほか、継続的な芝のメンテナンスの実施が必要となり、また一般利用に制限が掛かることも考えられます。

このため、施設改修の内容や時期については、社会人サッカーチームの施設利用の確実性を勘案して方策を考える必要があります。

第3章 再整備方針

1. 基本方針の検討

阿久比スポーツ村は、本町の「するスポーツの推進」、「観るスポーツの推進」、「支えるスポーツの推進」の中心施設として整備を図ります。

阿久比スポーツ村は、町内外の利用者があり、高い稼働率の野球場、室内練習場、陸上競技場や、プール、多目的体育室などがある交流センター等の既存施設があり、これらの施設を活かした整備を図ります。それらの施設は建築後年数が経っていることから、老朽化に対する改修や利用者のニーズに対応する機能向上のための整備を図ります。また長期的な再整備にあたっては既存施設の長寿命化のみならず、長期的視点にたって、建替えや新たな施設の設置を検討します。

阿久比スポーツ村再整備は、以下を基本方針とします。

- ・ 賑わいのある施設とするために、スポーツ施設利用者のみならず、一般の利用者にも憩いの場、集いの場となる整備やイベントの開催を推進します。
- ・ 安全安心に利用できる施設とするため、施設内の道路や歩道の整備を図るほか、知多半島道路阿久比インターチェンジに近接している立地条件を活かした周辺のアプローチ道路の整備を検討します。
- ・ 持続可能な施設とするため、収入機会を増やす施設の魅力向上や各種イベントの実施を図ります。
- ・ 避難所・避難場所の機能の向上を図るとともに、脱炭素社会の実現に向けた整備の促進を図ります。
- ・ 機能強化が図られる防災、子育て支援などの各分野における連携等を含めた施設の位置づけやそれに適合した利用目的の明確化を各部署との連携により検討します。
- ・ 各施設の再整備、管理運営に対して、民間事業者等のノウハウを活用するために、施設の再整備や管理運営の各段階において民間活力の導入を検討します。
- ・ 各施設の再整備に対して、基金に依存せず、町の財政運営に影響を及ぼすことのないよう、ネーミングライツの実施、活用可能な補助金、交付金の調査や他自治体の整備運営手法の調査等により、利用者の増加、サービスの向上等を図る効果的な投資となる整備運営手法を検討します。
- ・ 地元プロ野球球団や社会人サッカーチームの施設利用による再改修が生じることがないよう、事業スケジュールと再整備内容について検討します。

2. 再整備方針の検討

阿久比スポーツ村の各施設の課題、スポーツ村再整備の基本方針から、各施設の再整備方針を次のとおり設定し、再整備を進めます。

施設名称	再整備方針
交流センター	これまではプールや体育室など、主に一般利用の頻度が期待される諸室の改修を進めてきており、併せて当面の取組として、アジア大会の練習会場の採択に向けてシャワー浴室、更衣室の改修を進めることとします。その上で、今後は、防災拠点機能や公用利用を含め、諸課題解決のための再整備施策で検討する中で、投資効果が損なわれないよう、必要最小限の改修に留めます。
野球場	地元プロ野球球団の施設利用が判断されると大規模な改修が必要となることから、その決定までは老朽化対策、機能維持に必要な施設改修に留め、併せて利用者意向を基にした魅力ある野球場への改修内容を並行して検討します。
室内練習場	地元プロ野球球団の野球場利用が決定されると室内練習場についてもプロ球団仕様への改築が必要となることから、その決定までは、最小限の施設補修に留め、併せて室内練習場の必要性と更新手法を並行して検討します。
陸上競技場	アジア大会の練習場としての整備を進めるとともに、要望の高いトラック修繕、外周路増強の整備を進めます。社会人サッカーチームが利用する場合には、クラブが使用できる仕様への施設改修をクラブとの協議を踏まえて検討します。
倉庫・多目的トイレ	倉庫は利用状況と必要性から利用内容を検討し、継続した利用を行うための機能維持改修を実施します。多目的トイレは管理の徹底を図り、機能維持、向上のための改修を実施します。
守衛室	守衛室は、簡易的な建物であり老朽化が激しく、現在使用されていないことから除却することを検討します。

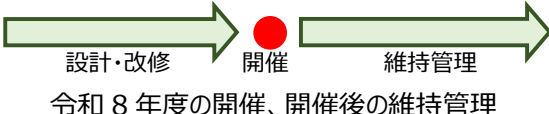
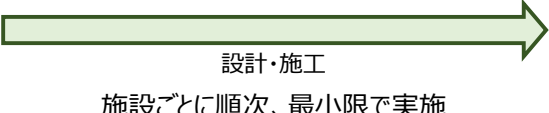
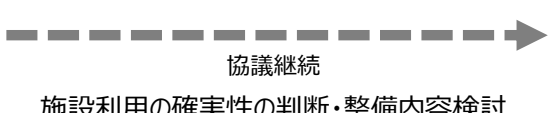
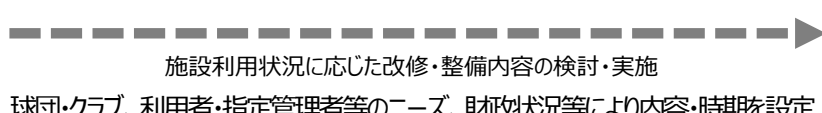
阿久比スポーツ村施設のうち交流センターについては、長期的視点からの利活用方法、特に宿泊室等の小規模諸室の利活用の観点から合宿機能の設置が考えられますが、その場合、現状の交流センターの諸室配置、設備内容からは次の課題が挙げられます。

- ・ 浴室の設置が必要になりますが、既存浴室は狭く、またプール側からの入室に限られるため、既存浴室を流用する場合には直接浴室に入室できる入口の設置あるいは浴室の別棟による設置が必須になります。
- ・ 合宿所利用者への給食機能が必要となりますが、現状の厨房機器は老朽化しており、取り換え又は別の方法（配食等）を検討する必要があります。
- ・ 夜間休日における合宿機能以外の諸室とのセキュリティ確保、施設施設錠あるいは管理・守衛の確保等の要否を検討する必要があります。

第4章 再整備計画

1. 再整備内容の検討

阿久比スポーツ村の現状・課題からの再整備方針、利活用検討委員会での期間を区分して順次整備を進める、との意見を踏まえ、また、地元プロ野球球団や社会人サッカーチームの施設利用の確実性を協議する期間を考慮し、再整備期間を令和6年度からの5年間と令和11年度以降に区別して計画を進めます。

整備・検討項目	令和6～10年度	令和11年度以降
アジア大会練習施設利用 に向けた改修		
老朽化修繕・利用者 ニーズに対応した改修		
地元プロ野球球団・ 社会人サッカーチームとの 施設利用に関する協議		
利活用向上に向けた 長期的な改修・整備 (今後実施を検討する整備)		

阿久比スポーツ村の再整備計画を施設別、整備の時期別に整理します。

老朽化による修繕、利用者ニーズ、アジア大会練習会場誘致に向けた改修・整備を「進行中の整備」、「今後5年間（令和6～10年度）に実施予定の整備」に時期を区分するほか、現在町で検討され、時期が未定のものを「今後実施を検討する整備」として整理します。

「今後実施を検討する整備」については、地元プロ野球球団、社会人サッカーチームの施設利用動向、利用者や指定管理者のニーズ、財政状況等の状況により、実施内容や実施時期を適宜見直すものとし、必要に応じて実施時期を早めることも検討します。

（1）各施設の整備内容

1）交流センター

交流センターは、利用方法が決定した部屋から必要な改修工事を進めているほか、プールについては町内小学校の老朽化に伴い、温水化等の設備が整い次第授業で使用することを検討しています。

一部の部屋は利用方法が決定しており、これらに必要な改修工事を進めています。それ以外の部屋についても有効に活用していくため、町職員で組織する内部検討委員会や、町民代表で組織する外部検

討委員会の意見を参考に、その利用に即した改修を進めます。

【進行中の整備】

- 令和 6 年度から町社会教育課体育係の移転配置に向けて受付改修工事（令和 6 年 1 月完了）
- 多目的体育室バスケットボールコート改修工事（令和 6 年 3 月供用開始）
- プール温水化工事（令和 6 年 12 月供用開始予定）
 - ※供用開始前に、使用料を決定
- クラブハウスからトレーニング室の移転（令和 6 年 12 月供用開始予定）に伴うトレーニング室等の空調設備設置工事・シャワー室改修工事
 - ※シャワー室改修はアジア大会練習会場誘致に向けた先行改修でもある
- トイレ改修工事

【今後 5 年間（令和 6 ～10 年度）に実施予定の整備】

- プール温水化工事 [※再掲]
- クラブハウスからトレーニング室の移転に伴うトレーニング室等の空調設備設置工事・シャワー室改修工事 [※再掲]
- トイレ改修工事 [※再掲]
- 屋上防水改修工事（令和 7 年度）
- 全館空調設備の現状調査（令和 7 年度）

【今後実施を検討する整備】

各室の利用方法を検討の上、必要に応じて以下に掲げるような整備を進めます。

- | | |
|-----------------|---------------|
| ○災害時避難所としての機能整備 | ○合宿所としての機能整備 |
| ○プール天井改修工事 | ○放送設備改修工事 |
| ○全館空調設備改修工事 | ○各室個別空調設備設置工事 |
| ○各室内装等改修工事 | ○娯楽スペースの整備 |

表 交流センターの整備

整 備 内 容	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度～
プール温水化工事 (※R5 年度より実施)						
トレーニング室等の空調設備設置工事 シャワー室改修工事						
トイレ改修工事						
屋上防水改修工事						
全館空調設備の現状調査						

※令和 5 年度中に完了する工事を除く

2) 野球場

野球場は高校野球の大会をはじめ、毎年定例のイベントが開催されるなど、休日を中心に年間を通じて非常に多く利用されています。かつて野球場は、地元プロ野球球団の準フランチャイズ球場として利用されていたこともあり、球団からは、秋季キャンプ候補地としてリストにも挙げられます。

こうした状況を踏まえつつ、当面は、利用者や観覧者がより快適に使用できるよう設備の充実を図るとともに、地元プロ野球球団の秋季キャンプ場として使用することになった際には、球団と協議のうえ必要な改修を行います。

【今後 5 年間（令和 6 ～10 年度）に実施予定の整備】

- グラウンド整備工事（施工：令和 6 年度）
（※その後、補修工事を定期的（2 年に 1 回程度）に実施）
- 野球場トイレ改修工事（施工：令和 6 年度）
- 野球場通路舗装工事（令和 6 年度）

【今後実施を検討する整備】

- スコアボード改修（電光掲示板）

表 野球場の整備

整備内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度～
グラウンド整備工事						
野球場トイレ改修工事						
野球場通路舗装工事						
スコアボード改修（電光掲示板）の検討						

3) 室内練習場

建物は建築後 50 年近くが経過し、全体に老朽化が進行しています。野球場を地元プロ野球球団が使用となった場合には本施設も併せて使用が見込まれることから、その判断までは施設の維持に必要な改修を進めます。

また、その取組みと並行して、施設の必要性や、更新する場合の具体的手法など、施設の有り方について検討を進めます。

【今後 5 年間（令和 6～10 年度）に実施予定の整備】

- 設備・照明器具等必要最低限の維持

表 室内練習場の整備

整備内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度～
設備・照明器具等必要最低限の維持						

4) 陸上競技場

陸上競技場は、令和 8 年に愛知県・名古屋市で開催されるアジア大会で、サッカー競技の練習場として利用される可能性があります。その誘致も想定しつつ、機能充実にに向けた整備を進めます。

【今後 5 年間（令和 6～10 年度）に実施予定の整備】

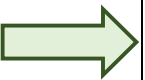
- 外周走路改修工事（令和 6 年度）
- トラック改修工事（令和 7 年度）
- 芝改修工事（設計：令和 6 年度 施工：令和 7 年度）
- ※芝改修工事はアジア大会練習会場の使用に向けた改修

- 芝刈りロボット導入（令和7年度 芝管理へのICT技術活用による維持管理の省力化）
- ※芝刈りロボットはアジア大会練習会場の使用に向けた導入

【今後実施を検討する整備】

- 照明施設改修工事
- 競技場外周路の整備（周辺道路への歩道設置等）

表 陸上競技場の整備

整備内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度～
外周走路改修工事						
トラック改修工事						
芝改修工事						
芝刈りロボット導入						

5) 道路

阿久比スポーツ村利用者の安全・安心確保の一環として、構内の道路整備を進めます。

【今後5年間（令和6～10年度）に実施予定の整備】

- 陸上競技場入口～交流センター入口間の歩道整備工事（令和6年12月供用開始予定）

【今後実施を検討する整備】

- 道路改良工事

表 道路整備

整備内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度～
陸上競技場入口～交流センター入口間歩道整備工事						

◆阿久比スポーツ村内の道路整備

阿久比スポーツ村利用者の安全・安心確保の一環として、現在阿久比スポーツ村内を横断している町道をスポーツ村北側に知多半島道路に沿って付け替えと、スポーツ村南側から既存駐車場へのアクセス確保する道路・交差点改良が検討されています。

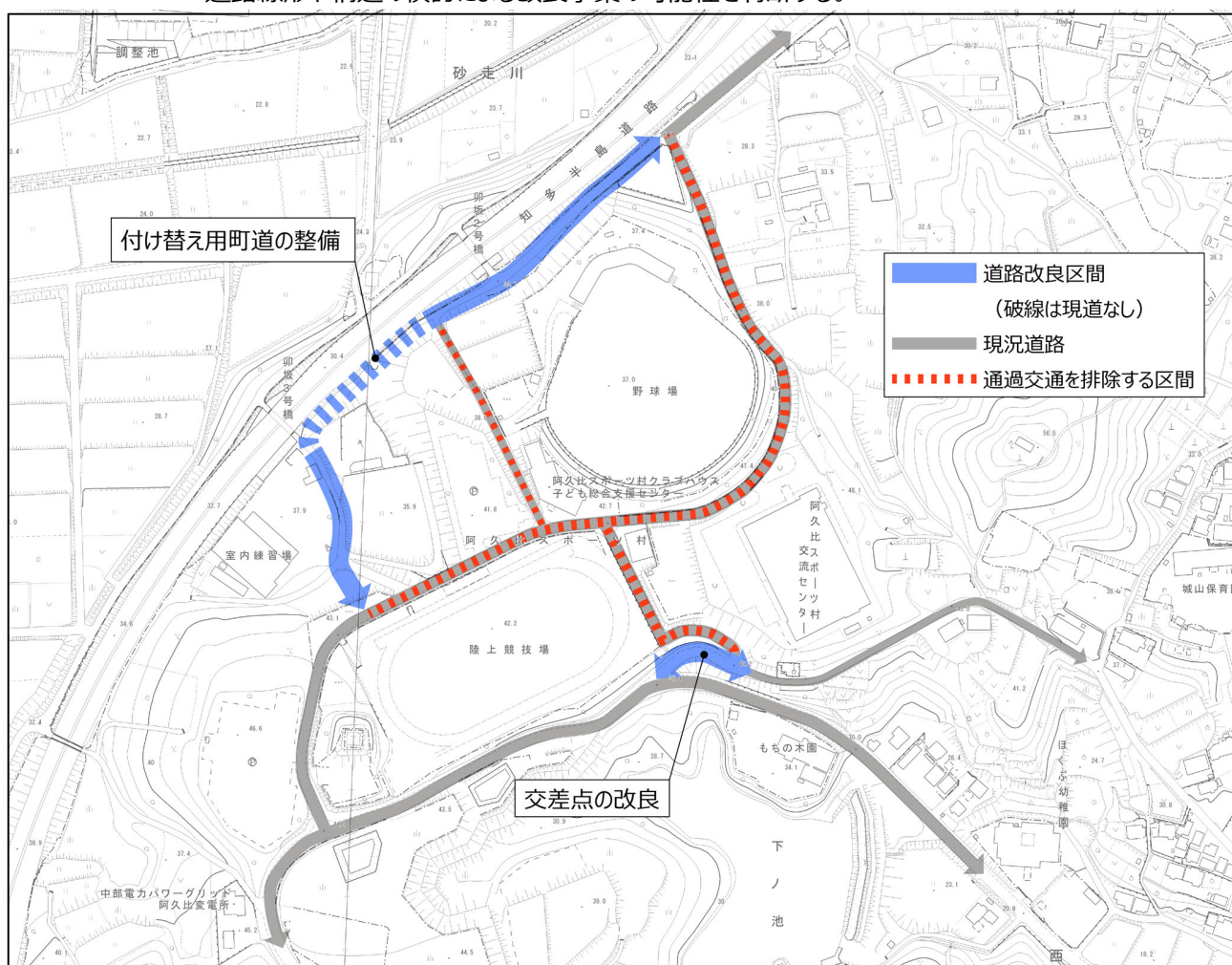
これらの町道付け替え、道路・交差点改良工事では、多大な事業費確保と調査・調整期間が必要と考えられるため、長期計画として次の点について検討を行い、事業化の可能性を判断することが適切と考えられます。

【スポーツ村北側付け替え用町道整備】

- ・ 用地買収
- ・ 道路想定地には高低差や知多半島道路の跨道橋などがあり道路線形や道路構造が複雑になり、予備設計を実施した道路設置の可能性を事業費、工期を含めて検討する。
- ・ 知多半島道路に隣接するため、準備工、仮設工などに道路管理者との協議調整が必要であり、そのための期間や対策費用も膨大となる。

【スポーツ村南側道路・交差点改良】

- ・ 現在の交差点は周辺の高低差により、現状の交差点形状となっていると想定され、一体化した交差点に改良するには、斜路の距離により回避している高低差を短距離で吸収させることによる道路線形や構造の検討による改良事業の可能性を判断する。



道路想定図

6) その他

阿久比スポーツ村全体の機能向上を図るため、主に屋外を対象として以下の整備を進めます。

【今後 5 年間（令和 6 ～10 年度）に実施予定の整備】

○遊歩道（ウォーキングコース）、ランニングコース整備事業

※コースの周知と新たなコースの検討

【今後実施を検討する整備】

○遊歩道（ウォーキングコース）、ランニングコース整備事業

※新たなコースの整備（必要に応じて）

○照明施設の再整備（LED 化を含む）

表 その他の整備

整 備 内 容	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	R 11 年度～
遊歩道・ランニングコース 整備事業			新コース検討・設計			施 工

(2) 運営方針

1) 民間事業者のニーズ（民間活力を活用した運営）と施設整備の調整・協議

- ・阿久比スポーツ村全体にわたり、施設の魅力向上や、町財政負担軽減の視点から、運営・管理について、民間活力を積極的に活用していくことが望まれます。
- ・一方で、野球場、室内練習場では地元プロ野球球団の利用が不確定な状況であり、陸上競技場については、令和8年度に開催されるアジア大会の練習場として利用される可能性もあります。また、交流センターのプールについて、令和6年度は監視委託を継続する予定となっています。
- ・こうした各施設の諸事情も考慮しつつ、指定管理者制度の導入に向け、民間事業者のニーズを踏まえて、具体的な方法・範囲・時期等について検討します。その際、施設整備にかかる民間と行政の役割分担についても調整・協議を図ります。
- ・阿久比スポーツ村全体に民間活力の活用を進める中で、指定管理者の自主事業による各種のスポーツ教室や諸室の利活用に繋がるイベントや催し等の実施を促します。

2) プロスポーツ等と連携した施設利用の高度化と認知度の向上、リピーター確保

- ・前述した地元プロ野球球団及び社会人野球チームとの連携のほか、本町とホームタウンパートナー協定を締結しているFC刈谷と連携する中で、阿久比スポーツ村の具体的な活用方法等を検討し、プロスポーツの練習などを観覧する機会を増やすなど、阿久比スポーツ村の認知度の向上と施設利用の高度化による新たな利用者やリピーターの確保を図ります。

3) 他部署と連携し、人を呼び込み収益を上げるイベント等の企画・運営

- ・白沢ホテルの里でのホテル観賞会に合わせて行われた“灯籠の点灯”が人気を博し、観覧者の集中により会場周辺の安全確保が困難になったため、令和6年度より阿久比スポーツ村に会場を移して実施することになっています。また、まちの魅力体験イベントとして“あぐい結びの市「よりみち-yorimichi-」”が交流センターで開催されるなど、町内外から人が多く訪れるイベントが拡大しつつあります。このようにスポーツ関連だけでなく、文化的なものも含めたイベント等を、各種団体や他部署と連携しながら企画・開催し、施設の利用促進、活性化、収益向上を図ります。

2. 事業計画

(1) 概算事業費

今後5年間（令和6～10年度）に実施予定の整備にかかる概算事業費（工事費）は以下のとおりです。

◆交流センター

・ プール温水化工事	49,278 千円
・ トレーニング室空調設備設置工事	51,729 千円
・ シャワー室改修工事	23,650 千円
・ トイレ改修工事	3,685 千円
・ 屋上防水改修工事	164,545 千円
・ 全館空調設備の現状調査	3,000 千円

◆野球場

・ グラウンド整備工事	12,000 千円
・ 野球場トイレ改修工事	86,108 千円
・ 野球場通路舗装工事	5,100 千円

◆室内練習場

・ 設備・照明器具等必要最低限の維持	30,000 千円
--------------------	-----------

◆陸上競技場

・ 外周走路改修工事	1,300 千円
・ トラック改修工事	185,000 千円
・ 芝改修工事	100,000 千円
・ 芝刈りロボット導入	2,000 千円

◆道 路

・ 阿久比スポーツ村歩道工事	24,748 千円
----------------	-----------

(2) 事業スケジュールの検討

阿久比スポーツ村の各施設等は、今後 5 年間は老朽部分の改修と機能の向上を基本とする整備を図ります。また令和 8 年に開催されるアジア大会の練習場としての利用を想定した整備を図ります。

長期的な視点から阿久比スポーツ村及びそこに立地する各施設のあり方の検討を進め、その実現に向けた整備を令和 11 年度から推進します。

表 事業スケジュール（施設整備）

		R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度～
交流センター	・老朽改修						
	・交流センターの位置づけの検討及びそれに合わせた整備	■	■	■	■	■	
野球場	・老朽改修						
	・機能向上のための整備	■	■	■	■	■	
室内練習場	・設備・照明器具等必要最低限の維持						
	・室内練習場のあり方検討及びそれに合わせた整備	■	■	■	■	■	
陸上競技場	・芝改修等						
	・機能向上のための整備	■	■	■	■	■	

(3) 事業手法の検討

将来的に民間事業者による指定管理（自主運営）を目指し、民間事業者等と連携して、阿久比スポーツ村の有効な運営方策を協議していきます。また利用者の要望等を収集し、阿久比スポーツ村の魅力拡大、利用者増加に必要な機能増強などにつながる改修内容を、事業者目線からの意見も踏まえて検討します。

その際、大規模な施設整備が必要となる場合には、町の財政負担軽減や費用の平準化、町職員の事務負担軽減を考慮して、官民連携の最適な方法を選択するものとします。

想定される事業手法としては、改修または新設の建設費を平準化させるための PFI 手法の採用も考えられます。

（４）事業評価指標の検討

阿久比スポーツ村の整備は「第４章 再整備計画」のとおり、年次ごとに順次実施する計画ですが、各々の工事完成後には各施設の利用、運営手法が、現状と異なることが想定され、利用者にとって利活用しやすい施設として整備されているかを検証するとともに、今後実施を検討する整備については、利用者意向を踏まえて提供するサービスの質の変化を併せて検討することで、利用者満足度の向上と利用者の増加に寄与し、整備に対する費用対効果が表れるものとなります。

これまで、施設利用申込実績から利用者数や利用者属性（町内外利用等）は統計されているものの、利用者の意見集約等は実施されておらず、進行中の整備の効果や今後実施を検討する整備を選定するための客観的なデータ収集が不可欠と考えられます。

他自治体のスポーツ施設を含む公共施設では、利用者満足度調査（アンケート調査）を定期的に実施して、利用者意見の経年変化を収集、分析し、今後の施設改修やソフト面でのサービス改善を図ることが一般的になっています。直営による運営から運営委託や指定管理に移行する目的の一つとして、利用者へのサービス向上があり、その評価指標にも利用することが可能です。

阿久比スポーツ村においても、利用者からの客観的な意見を収集し、これらの調査結果から利用者満足度を高め、利用者の増加に向けた施策を実施することが重要になると考えられます。なお、これらの意見集約においては、スポーツ施設の利用者に限らず、阿久比スポーツ村への来所者を含めて意見集約の対象者とし、スポーツに関与しない来所者の意見も収集することが必要です。

１）評価指標を収集する調査

施設改修や運営改善等の評価や今後の事業を検討する指標を収集する調査としては、施設利用者を対象としたアンケートやヒアリングによる定期調査、逐次調査があり、これらに加えて統計調査が考えられます。

表 評価資料を収集する調査の概要

調査区分	調査目的	頻度	対象施設
定期調査	満足度の経年変化を蓄積し、サービスの質（施設、ソフト）改善を検討	１回/年	阿久比スポーツ村 全域
逐次調査	大会、イベント開催時の施設利用満足度から対象施設の改善を検討	主要な大会・イベント開催後	大会・イベント使用 施設
統計調査	施設利用申込による利用者属性の経年変化から利用動向を把握し、施設改善の必要性を検討	１回/月で集計	利用申込が必要な 施設

２）評価指標

それぞれの調査を実施するにあたっては、調査後の集計により再整備・改修事業や運営に対する評価ができる指標を設問項目として設定することになります。

評価指標として設定する設問項目は、評価対象により次表の設問が考えられます。

なお、これらの調査結果はそれぞれ単独で評価するものではなく、全体を総合的に評価、判断することが必要となります。

表 評価のための主な指標項目

評価対象	評価の主な指標項目（設問項目）	
利用者 動向	利用者属性	年齢、性別、居住地、職業
	利用実態	利用歴、利用施設・室、利用形態（個人・団体・講座・大会参加等）
	利用目的	健康増進、トレーニング、団体等の活動、コミュニケーション等
	アクセス	交通手段、駐車場
利用者 満足度	環境・対応	施設の使いやすさ、施設の清潔さ、受付の対応、相談・質問対応
	内容・行事	講座等の内容、スタッフの指導、参加できる講座・イベント、施設認知度
	規定・案内	施設内の案内表示、開館時間、開館・休館日
	手続き	予約・利用時の手続き、申込時や変更時の対応
	設備・整備	付帯設備（シャワー、更衣室、飲食等）の充実、器具・用具の充実

3) 事業評価指標

阿久比スポーツ村において、事業評価を行うために有効と考えられる調査、及びその際に事業・運営面の評価指標となる調査項目は、調査内容ごとに次のとおりと考えられます。

●利用者満足度調査			
調査目的	阿久比スポーツ村全域を対象とした利用者、来所者の満足度を網羅的に把握し、改修事業や運営について評価する。		
対象者	利用者、来所者	調査頻度	1回/年
調査方法	・一定期間（1か月程度）の利用者、来所者に調査票または調査用 QR コードを配布して回答を得る。 ・利用者には利用当日の受付時に調査票または電子回答用 QR コードを配布する。 ・受付等に調査票または QR コードを配置する。 ・スポーツ施設利用者以外の来所者（クラブハウス利用者、散策者等）についても調査対象とする。		
評価指標	利用者動向	属性、利用実態・時間、利用目的、アクセス	
	環境・対応	施設の使いやすさ、施設の清潔さ、相談時の対応	
	内容・行事	講座の有効性、スタッフの指導、実施してほしい講座等	
	規定・案内	開館時間・開休館日の設定、案内表示の解りやすさ	
	手続き	予約・利用時手続きの容易さ	
	設備・整備	付帯設備や器具等の不足、必要な付帯設備や器具等	

● 定期利用団体へのヒアリング調査			
調査目的	定期的に利用する団体による満足度や意見等を収集し、阿久比スポーツ村の改修事業や運営について評価する。		
対象者	「アクティブあぐい」等の団体代表者	調査頻度	1 回/年
調査方法	・ 年 1 回、団体代表者から、利用施設の満足度や改善点をヒアリングする。		
評価指標	利用者動向	参加者属性、利用実態・時間、利用回数	
	環境・対応	施設の使いやすさ、施設の清潔さ	
	規定・案内	開館時間・開休館日の設定、案内表示の解りやすさ	
	手続き	予約・利用時手続き（優先性等）	
	設備・整備	付帯設備・器具等の不足、必要な付帯設備等	

● 主要な大会・教室開催時の満足度調査			
調査目的	特定の施設を使用して大会やスポーツ教室を開催する団体、参加者から各施設を利用する専門的な立場からの満足度や意見を収集し、阿久比スポーツ村の改修事業や運営について評価する。		
対象者	大会・教室主催団体代表者、参加者	調査頻度	大会・教室終了時
調査方法	・ 陸上競技場、野球場、交流センターを単独で利用する団体をそれぞれ選定する。 ・ 主催団体代表者から、専門性のある利用施設の満足度や改善点をヒアリングまたは調査票により調査する。 ・ 参加者には主催団体から調査票を配布・回収または電子回答用 QR コードの配布を依頼する。		
評価指標	利用者動向	参加者属性、利用実態・時間、アクセス	
	環境・対応	施設の使いやすさ、施設の清潔さ	
	規定・案内	案内表示の解りやすさ	
	手続き	予約・利用時手続き（優先性等）	
	設備・整備	付帯設備・器具等の不足、必要な付帯設備・器具等	

●主要なイベント開催時の満足度調査			
調査目的	スポーツとは関係しないイベントを開催する団体、参加者から、スポーツ利用しない立場からの満足度や意見を収集し、阿久比スポーツ村の改修事業や運営について評価する。		
対象者	イベント主催団体代表者、参加者	調査頻度	イベント終了時
調査方法	- 主催団体代表者から、阿久比スポーツ村をイベント会場として使用した際の満足度や改善点をヒアリングまたは調査票により調査する。 - 参加者には会場に調査票を配置して現地回収または電子回答用 QR コードを配置する。		
評価指標	利用者動向	参加者属性、アクセス	
	環境・対応	施設の使いやすさ、施設の清潔さ	
	規定・案内	案内表示の解りやすさ	
	手続き	予約・利用時手続き（優先性等）	
	設備・整備	付帯設備の不足、必要な付帯設備等	

●施設利用者の統計調査			
調査目的	施設利用申込の利用者属性から、各施設の利用者数、庁外利用者数等の経年変化から、施設改修、運営変更の時期前後の変化や利用継続を評価する。		
対象者	施設利用申込者	調査頻度	1 回/月で集計
調査方法	・ 利用申込に記載の利用者属性を集計する。		
評価指標	利用者動向	属性、利用実態・時間、1 回の利用者数	

なお、利用者調査を行う場合には、阿久比スポーツ村の各施設を利用する目的の方を対象とするだけでなく、阿久比スポーツ村に設置されている子育て支援センター等のスポーツ以外の機能の利用者や施設を利用する目的以外で来所する方、あるいは、スポーツ以外の大会やイベントの主催者や参加者についても対象として意見聴取することで、スポーツとは異なる立場での施設改修や改善点を把握できることとなり、阿久比スポーツ村全体の利用促進に寄与します。

第5章 計画の推進に向けて

1. 計画の進捗管理・見直し

計画の進捗管理は、庁内で組織する継続性のある検討委員会を設置し、第4章2-(4)で設定した事業評価指標に基づき評価を行い、達成度による進捗管理と事業見直しの判断を行います。

推進や進捗の確認は頻度よく実施するため、年2～4回程度実施するものとし、PDCAサイクルに則って推進していきます。

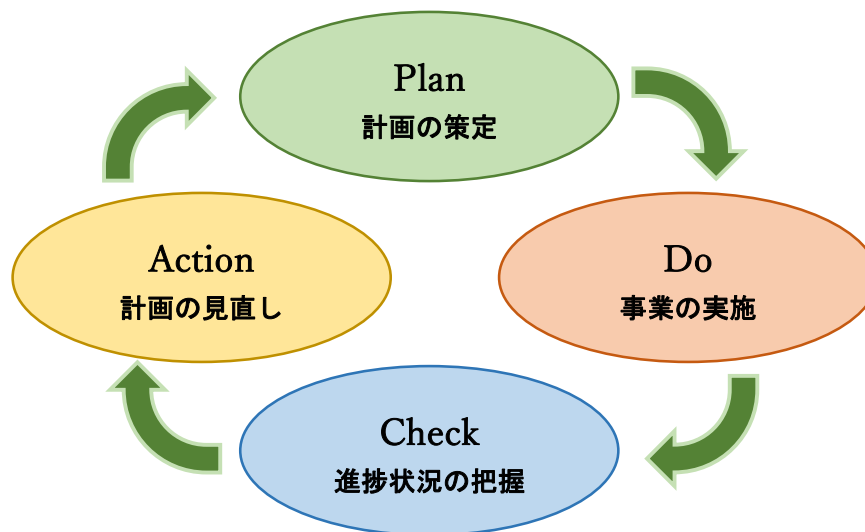


図 PDCA サイクルによる計画の進捗管理のイメージ

2. 推進体制

進捗管理については、当面、阿久比スポーツ村の主管部門である社会教育課を中心に、関係部署（子育て支援課、防災交通課、産業観光課など）と協議し、事業・運営の見直し等の判断を行います。

また、今後の阿久比スポーツ村の再整備について庁内の意思決定を検討する組織として、庁内横断型及び外部関係者による検討組織を設置することが望ましいと考えられます。

この検討組織では、阿久比スポーツ村全体を包含して、認知度・魅力、利用者サービスの向上を図る改修、再整備や運営、進捗管理、事業評価等、これまでの課題、問題点を挙げて、今後の事業の進捗を十分担える組織体とすることが必要です。

現在設置されている交流センターの利活用を検討する庁内及び外部関係者による検討委員会の検討対象を、阿久比スポーツ村全体を包含する範囲に広げ発展させるなど、次年度以降に予定されている庁内組織の機構改革を見据えて、検討組織体の構築を関係部署との協議を実施していきます。